# 『リンドウの優良品種導入による産地育成』

=福岡県=

## 【全体概要】

リンドウは、近年、県内市場への入荷量が大きく減少しており、需要が満たされていない。そのため新産地の育成および既存産地の活性 化と安定生産が求められている。しかし、これまで栽培されていた在来系統は、形質の劣化やばらつきが大きかった。そこで、新品種を導入 し、福岡県に適応できる優良品種を選定すると同時に、安定生産技術を確立し、県内各地域での生産振興を図る。

## 新品種・新技術等の概要

○何スカイブルー・セトのリンドウ品種 花色は、濃青系、白系、複色系の3色があり、 品種により6月下旬から11月上旬まで出荷で きる。

〇福岡県に適応できる優良品種の選定と安定

生産技術の確立。

各品種の県内4カ所での開花期、 切り花形質等を調査。また、定植 時期(2月、4月)と生産性等を比較 検討。





### コンソーシアム候補の体制図

#### 【県農林業総合試験場】 【実需者】 検討会への参画 品種の評価・助言等 課題への対応技術開発 ・現地実証にかかる助言

調整

【福岡県花卉農協】

情報共有 協力関係し

- 実需者とのマッチング
  - 検討会への参画
  - 販売戦略策定

協力依頼 情報共有

【(有)スカイブルー・セト】

- 品種、種苗提供
- •現地適応性評価支援

情報共有

【農業革新支援専門員】

- ・事業計画の作成・運営
  - 各種検討会の開催
  - 関係機関との調整

【JA及び部会、生産者】

- 生産技術向上研修会の開催
- 検討会への参画

協力依頼 情報提供、

助言•指導

情報共有

連携

【県園芸振興課】

検討会への参画

・振興方針への反映

【実証ほ協力農家】

【普及指導センター

実証ほの調査

・リンドウ生産振興

実証ほの運営管理

- 実証は栽培管理
- データ記帳

## 実績と今後の展開

### 【実績】

- ①実証試験により、需要期である7月下旬から8月中旬に収穫でき、 切り花形質の優れる2品種を選定。
- ②福岡県における安定生産技術確立のため栽培基準を作成。
- ③導入品種の栽培面積は0a(H28)から15a(H30)に拡大。

### 【今後の展開】

- ①実証圃により切り花形質等の差が大きかったことから、全県的に 栽培技術を向上させる取組みが必要。
- ②生産拡大及び品質向上のための遮光処理試験等を継続して実施。

## 主な取組内容

【実証ほ設置】(4普及センター、4ほ場、各18品種)

【事業検討会・設計・成績検討会】(7月、11月)

実証ほの設計、成績を検討。

【プロジェクト会議、現地検討会】(7月~11月、6回)

実証ほ場の実施状況の確認および現地検討会を開催。

【実需者との意見交換会】(8月、2回)

福岡県花卉農協、仲卸、小売りの各実需者との意見交換会を実施。 【先進地調査】(8月)

農業革新支援専門員が中心となり、種苗供給元である長野県および 先進地である山口県、宮崎県を調査。